

MEGURU PROJECT / YUI MARCHE

貴社の敷地が、一日だけ 地域のテーマパークになる。

広告では届かない人に、届きます。

採用・社員の定着・地域での認知・社会貢献を、同じ一日でまとめて動かす催しです。

企画から当日の運営、終わったあとの報告書まで、マルトがまるごと引き受けます。

◆ MARUTO ◆

マルト 代表 秋柄 由香利

結マルシェ ご提案 | 2026年10月

※ 写真はすべてイメージです

この四つ、別々に手を打っていませんか。

地方の会社ほど、この四つが同時に起きています。それぞれに別の予算と別の担当がついていて、どれも決め手に欠ける——というご相談をよくいただきます。

01

採用が、難しい

応募が年々減る。そもそも会社の存在が知られていない。求人広告で来る人は、会社のことを知らないまま面接に来る。

02

社員が、定着しない

給与と休日だけでは伸びない。家族が「どんな会社で働いているか」を知らない。誇りを感じる場面がない。

03

地域に、覚えられていない

技術力はあるのに「あの会社」と言ってもらえない。地元の人に、何をしている会社か伝わっていない。

04

社会貢献の、打ち手がない

想いはあるが、本業を止めてまでは動けない。寄付はしているが、社員には何も残っていない。

🌱 **結マルシェは、この四つを「一日」でまとめて動かします。** 貴社の敷地に地域の人を招いて、入場無料の一日をつくります。大事なのは当日だけではありません。**準備の三ヶ月で、社員さんが地域の人と5~6回顔を合わせます。** 採用も、定着も、認知も、この「回数」から生まれます。



地域の店が並ぶ

手づくりの食べ物、ハンドメイド。地元の小さな事業者の発表の場になります



こどもの体験

つくる、さわる、やってみる。親も一緒に座って過ごせます



地域の発表の場

地元の団体や子どもたちが出演。見るだけで終わらせません

名刺を配った人は忘れられ、一緒に汗をかいた人は忘れられない。

結マルシェのいちばんの価値は、当日の来場者数ではありません。**準備の三ヶ月**にあります。社員さんが地域の人と一緒にひとつの日をつくる。その過程で関係が出来ます。



準備 | 事前に5~6回

会社の制服の人と、地域の人が混ざって手を動かします。年齢も立場もばらばらです

売り込みから、始めない

結マルシェに関わる → 地域の人（ボランティア）と一緒に準備をする → **仲間になる**
→ 「**人としての信頼**」が生まれる → その先に、自社の話を聞いてもらえる。

遠回りに見えるこの順番が、いちばん強い営業になります。一日だけ顔を出しても関係は残りません。5~6回会った社員さんは、いざというときに「**比較する相手**」ではなく「**相談できる人**」として思い出されます。

🌱 **これは、実際にやって確かめた形です。** 代表は前職の国内大手生命保険会社で、イベントから採用と新規契約が生まれる仕組みをつくり、それが**社内の教材**になりました。営業職が数万人いる会社で、**11年マネージャー**を務めています。

貴社が持ち帰るもの

① 採用の、入口

履歴書の前に**人柄が分かる**。来場した学生・主婦・地域の方と、働く前に知り合えます。子ども世代には「楽しかった思い出」と一緒に社名が残ります。

② 社員と、ご家族

家族が職場に来て、社員が地域に感謝される場面を見ます。**家族が会社を好きになる**ことは、定着にそのまま効きます。

③ 地域での、認知

チラシ・SNS・当日の看板に、企業名が入ります。「地域にある会社」から「**地域に必要とされる会社**」へ変わります。

④ 語れる、取り組み

採用パンフレット・会社案内・ホームページに載せられる、**自社の取り組み**になります。終了後に報告書をお渡しします。

よくいただく、ご質問

本業が、止まりませんか

止まりません。準備はマルトが動きます。社員さんに出ていただくのは**5~6回、1回2時間ほど**。当日の進行と安全管理もマルトが担当します。**開催日は、営業日でも構いません**。

雨が降ったら、どうなりますか

中止の判断ラインを、事前に文書で決めておきます。屋根のある会場を選べる場合は雨天でも開催します。**イベント保険にも加入します**（手配はマルトが行います）。

人が集まらなかったら

出店者と出演者はマルトが集めます。告知の素材（チラシ・SNS）も制作します。来場の見込みは**会場の広さと学区の世帯数から逆算**して設計し、無理な数字は置きません。

協賛で支えるか、中に入って、一緒につくるか。

関わり方は**二つから選べます**。人手を割けない場合は、協賛だけでも構いません。 **関われば関わるほど、持ち帰るものは大きくなります**。

A | 協賛で、支える

やること＝協賛を決める。それだけです。人手を割く必要はありません。当日のブースも、出なくて構いません。

持ち帰るもの：地域での認知／来場者との出会い／「あの会社が支えている」という記憶

向いている企業様：人手が足りない／まず一度、関わってみたい

B | 中に入って、一緒につくる

社員さんが、準備から関わります。地域の人と一緒に、ひとつの日をつくります。

持ち帰るもの：地域の人との関係／社員が「人に感謝される営業」を学ぶ／自社の取り組みとして語れる

向いている企業様：若手を育てたい／地域に根を張りたい

工程	マルト	A 協賛で支える	B 一緒につくる
企画・コンセプト	すべて	—	企画会議に参加
会場・行政申請・保険	すべて	—	—
出店者・出演者を集める	すべて	—	—
準備（事前に5～6回）	すべて	—	社員さんが参加
広報・チラシ・SNS	すべて	自社SNSで紹介（任意）	自社SNSで発信
当日の進行・安全	すべて	—	—
当日のブース	設営・運営	出なくても構いません	社員さんが立つ
片づけ・会計・報告書	すべて	—	—

 **会社としては外から支え、社員さんには個人として中に入っていていただく。** 運営の意思決定に出資者が入ると、イベントが**企業の宣伝**に見えてしまいます。この線を引いているから地域の行事として成立し、そのうえで社員さんは**地域の一員**として迎えられます。

開き方は二通り。費用の形も、変わります。

貴社が主催するか、地域の実行委員会が主催して貴社が協賛に入るか。当日の中身はどちらも同じ「結マルシェ」です。変わるのは、主催者と費用の持ち方です。

① 貴社が主催する（受託）

貴社の敷地で、貴社の名前で開きます。マルトが企画・運営・集客を受託します。

900,000 円（税別）／1件

- 基本 60万円 + 規模アップ 30万円
- 企画設計・会場レイアウト・行政申請・保険
- 出店者と出演者の募集、当日の進行、片づけ
- 告知素材（チラシ・SNS）と、終了後の報告書
- 装飾・テント・音響などの実費は別途

向いているとき：自社の名前で地域に開きたい／社員とご家族を中心に据えたい

② 協賛で関わる

地域の実行委員会が主催します。貴社は協賛企業として参加します。

30,000 円（税別）～／一口

- 一口からお名前を掲載します
- 上位の枠では、社員さんが準備段階からチームに入れます
- 当日のブース出展、ステージでの紹介
- その日の規模は、集まった協賛の総額で決まります
- 集まった協賛は、すべてその一日に使い切ります

向いているとき：まず一度、関わってみたい／自社の敷地は使えない

ご相談から、当日まで

ご相談・ヒアリング

やりたいこと、使える場所、ご予算をうかがいます

企画のご提案

現地を見て、会場レイアウトと見積をお出します

準備（約3ヶ月）

出店者・出演者集め、行政申請、告知。社員さんは5～6回

当日＋報告

マルトが進行と安全を担当。終了後に報告書をお渡します

会場と行政の後援申請には期限があります。開催日のおよそ6ヶ月前からご相談いただくと、会場の確保と後援名義の取得が間に合います。

費用に、含まれるもの・別途いただくもの

① の90万円に含まれます

企画設計／会場レイアウト／行政への届出と後援名義の申請／保険の手配／出店者と出演者の募集と調整／告知素材の制作（チラシ・SNS）／当日の進行と安全管理／片づけ／終了後の報告書

別途、実費をいただきます

テント・机・椅子／音響／装飾（紅白の幕・提灯・のぼり）／仮設トイレ／警備と交通整理／印刷費／景品 ※ 現地を見てから、見積をお出します。一宮市でご提案中の案件では、装飾と備品を含めた全体で300万円規模で設計しています。

構想ではありません。いま、四つの現場が動いています。

2026年10月時点で準備が進んでいる案件です。企業様が主催する形と、 地域の実行委員会が主催する形の両方が、同時に動いています。

開催予定	場所	主催	中身
2027年4月下旬	一宮市 企業様の本社駐車場	企業様が主催 (受託)	駐車場を一日だけ縁日にする形。射的・輪投げ・ロボット体験など。学区のご家族が歩いて来られる距離で開きます
2027年春または秋	一宮市 駅直結の屋根つき広場	結マルシェ 実行委員会	0〜3歳のご家族向け。ハイハイレース、寝相アート、助産師の育児相談。月齢ごとに分けて、どの子も主役になれる構成。800名規模
2027年3月	名古屋市中川区	地域の団体 (子ども食堂)	マルシェ30〜40店、ステージ8〜12組、1,000名規模。ボランティアは大学・高校のルートで40〜60名を募集予定
2027年4月24日(土)	東海市 駅前の大屋根広場	地域のご夫妻	テーマは園児の「出来た!」。事前に練習して当日が本番(ダンス・楽器・箸置きの販売)。屋根の下なので雨天でも開催できます



終わったあとに、残るもの

来場した人が、翌年はつくる側にまわります。一度始めると、毎年続く行事になります

🌱 四件のうち三件は、主催がマルトではありません。「やりたい人」が主催し、マルトが運営を担う形です。貴社が主催する場合も、同じやり方で支えます。

ご相談先

マルト 代表 秋柝 由香利 (あきとち ゆかり)
MEGURUプロジェクト／結マルシェ 実行委員会
まずは「何ができるか」だけでも、お聞かせください。現地を見てからでないと分からないことが多いので、一度うかがってのご相談を無料で承っています。